



のびのび若っ子

好きこそものの上手なれ

校長 池田 千穂

10月21日、令和5年度WSC(若小スポーツマイルカップ)を無事に終えることができました。「全力笑顔～心を一つに」のスローガンのもと、一生懸命に取り組む子どもたちの姿にたくさんの応援をいただき、心より感謝申し上げます。保護者の皆様、学校運営協議会の皆様からもあたたかいご感想をいただきました。ありがとうございました。

「スポーツの秋」と言いますが、やっと暑さがやわらぎ清々しい秋晴れの中、いろいろなスポーツを観戦も含めて楽しみたい季節になりました。10月27日には、ラグビーの横浜キャノンイーグルス菅谷優元選手が来校し、6年生に健康教育の一環でタグラグビー教室を行いました。菅谷さんは「とても楽しい時間でした。」とおっしゃっていました。そしてその笑顔からラグビーをプレーすることが大好きなことが私には伝わってきました。様々な競技のアスリートがインタビューで「やっぱり、〇〇(競技名)が好きです。」と言うのを耳にします。きっとここに来るまでには、楽しいだけではなく、いろいろな苦しいこともあったらと思うます。羽生結弦さんも北京オリンピックの時「スケートのことを本当に嫌いになることはたくさんあります。でも僕は僕のスケートが好きだなと思えた。」と話していました。昔から「好きこそものの上手なれ」と言います。好きだから上達する、そして継続していくためにもその「好き」という気持ちは大切なのだと思います。

私は先日のプロ野球ドラフト会議の報道で、度会さんのインタビューが心に残りました。度会さんは父がヤクルトで活躍したプロ野球選手で、自分もプロ野球選手を目指していました。横浜高校では甲子園にも出場し、その夢をかなえようとしていました。ところが3年前のドラフト会議では指名漏れ。その帰りの車中ではあまりの落胆にうなだれて無言だったと父が話しています。その後ENEOSで野球を続けて活躍し、今回、3球団から1位指名されました。インタビューでは涙が止まらず、家族で喜び合う様子が映し出されていました。本当によかったなあと見ていてこちらまで泣けてきました。そして、よく3年前に気持ちを立て直してリベンジしたなあ。野球をやめてしまわなかったのはなぜだろう…。きっと野球が好きなんだなあ、と思いました。好きだけではやっていけない世界がたくさんあるとは思いますが、好きな気持ちはやはり大きな原動力だと思います。そして、夢中になった経験そのものが人生を豊かにするのだと思います。

子ども達が、なにか好きで夢中になれること、それを日々の生活のなかで、学校生活の中でも見つけられるように私たち教職員一同、支援していきたいと思ひます。これからもどうぞご協力をよろしくお願いいたします。

若葉台小学校学校教育目標

『自他共に大切にすることを育みます』『意欲的な学びの芽を育みます』